

## 第3章 ニーズ調査結果からみた課題等

---



介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態調査結果からみた、本計画を作成する上での課題は、以下のとおりです。

※課題1～4は、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査からの分析

※課題5は、在宅介護実態調査結果からの分析

調査結果の処理

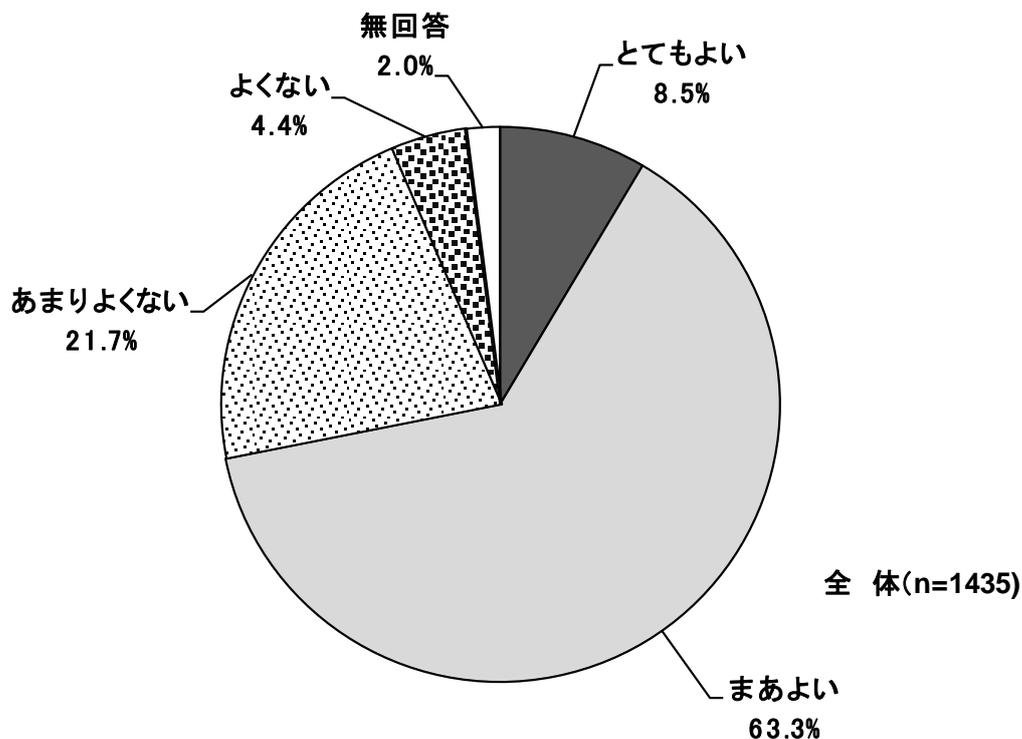
- 回答比率は、百分比の小数点第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100%にならないことがある。
- 2つ以上の回答を求めた（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は原則として100%を超える。
- 図に表示された「n」は、回答者数を示している。

**課題1 地域づくりを通じた健康づくり・介護予防の充実**

健康状態について、健康と認識している対象者は、「とてもよい」「まあよい」を合わせて71.8%と7割を超えています。

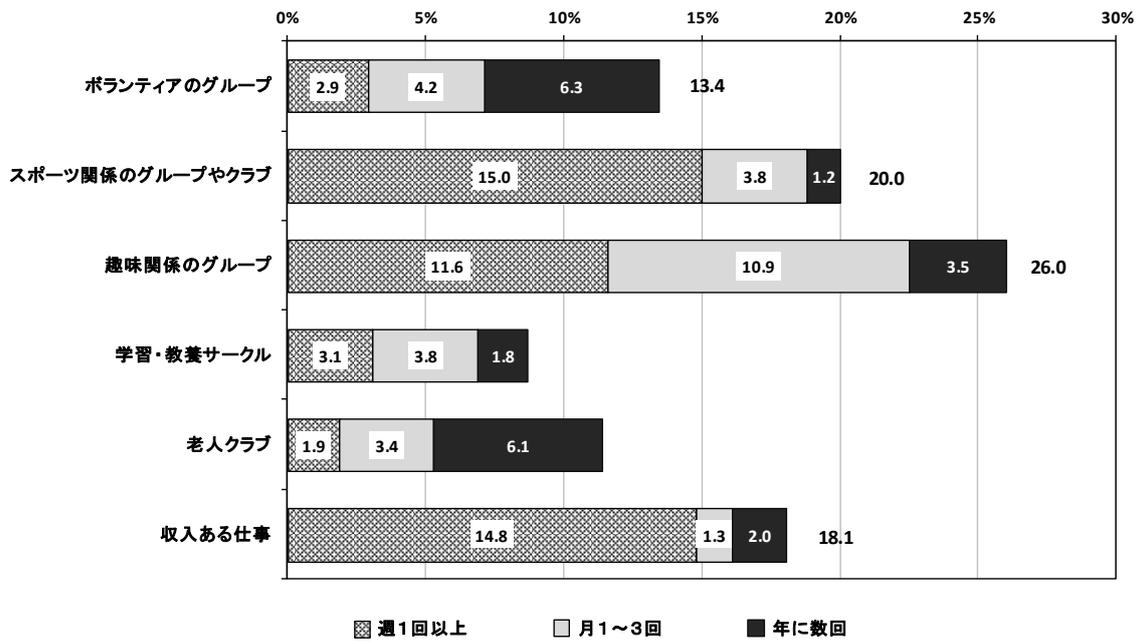
一方、日頃、参加している会・グループへの参加度をみると「趣味関係のグループ」が26.0%と最も多く、ついで「スポーツ関係のグループやクラブ」の20.0%と続き、以下、「ボランティアのグループ」の13.4%となっており、趣味やスポーツ等自分の生きがいをづくりのための参加度は全体の2割から3割弱となっています。

問 現在のあなたの健康状態はいかがですか



◆第3章 ニーズ調査結果からみた課題等◆

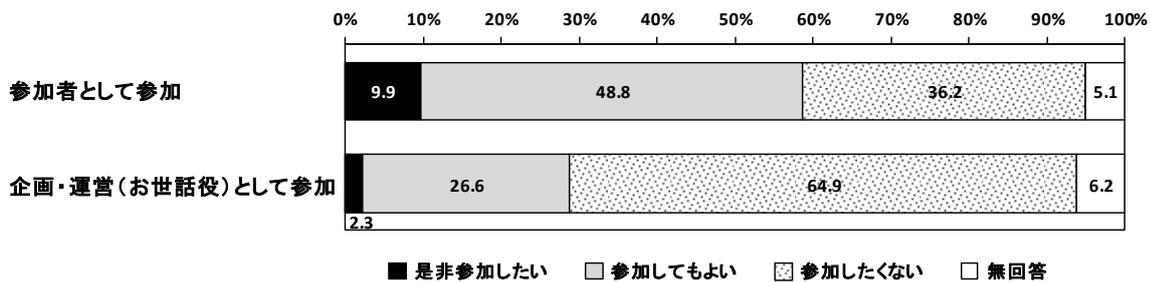
問 以下のような会・グループなどにどのくらいの頻度で参加していますか



このような中、健康づくり活動や趣味等のグループ活動への今後の「参加者」としての参加意向は58.7%と過半数を占める一方で、企画・運営いわゆる「世話役」としての参加意向は28.9%にとどまっており、これらの活動が本人の生きがいづくりや健康づくりにつながる活動として、参加機会の拡充に向けた環境づくりを進める必要があります。

問 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行うことで、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

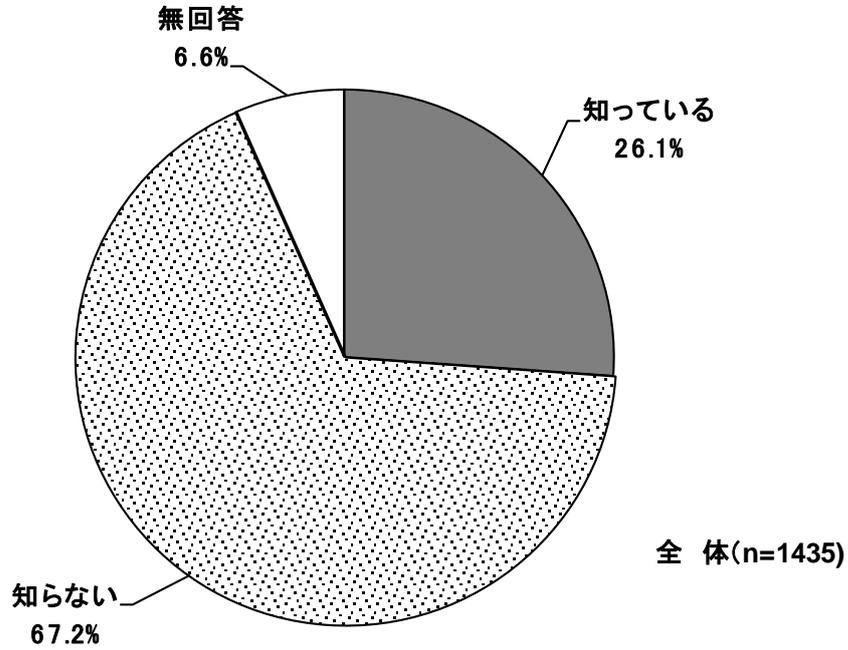
問 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味などのグループ活動を行うことで、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか



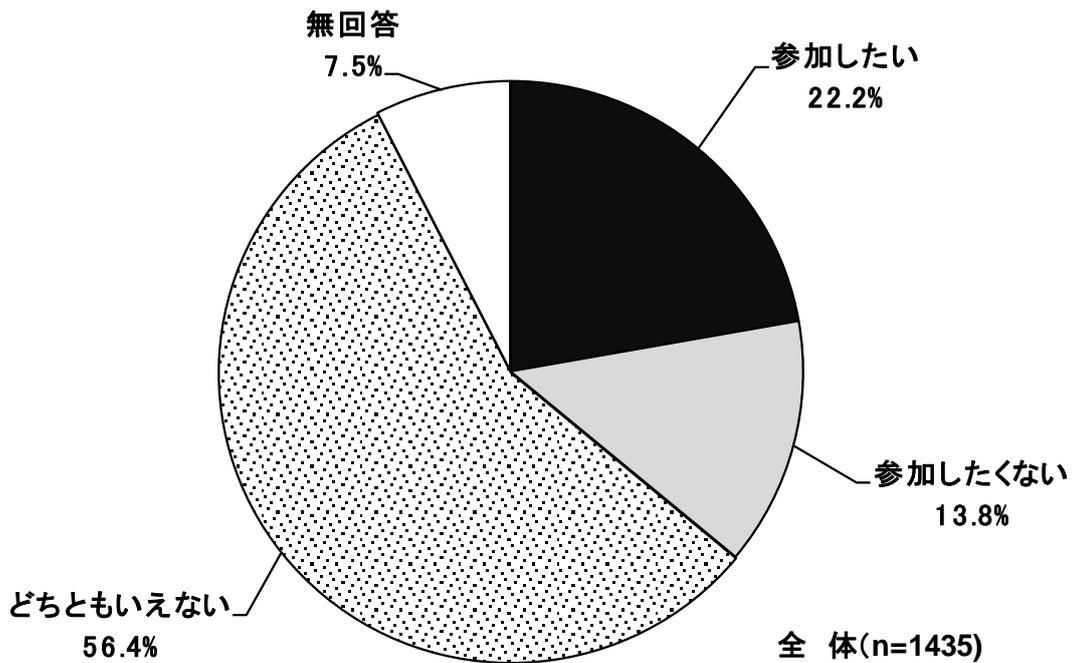
本市には、高齢者を対象にした生きがいづくりを含めた健康づくりや介護予防の場となる「住民運営通いの場」が各地域にあります。高齢者の認知度は26.1%と低く、歩いて通える範囲に、「住民運営通いの場」があった場合の参加意向についても、「参加したい」は22.2%となっています。

健康だから「住民運営通いの場」について関心がないのか、知ることによって参加意向は高くなるのか等、「住民運営通いの場」等をはじめとして詳細な高齢者ニーズの把握等を通して、具体的な健康づくりや介護予防の取組の充実を図る必要があります。

問 周南市で、高齢者を対象にした「住民運営通いの場（5人以上のグループ、住民主体で、週1回いきいき百歳体操などの効果的な運動に取り組むグループ）」が各地域にあることを知っていますか



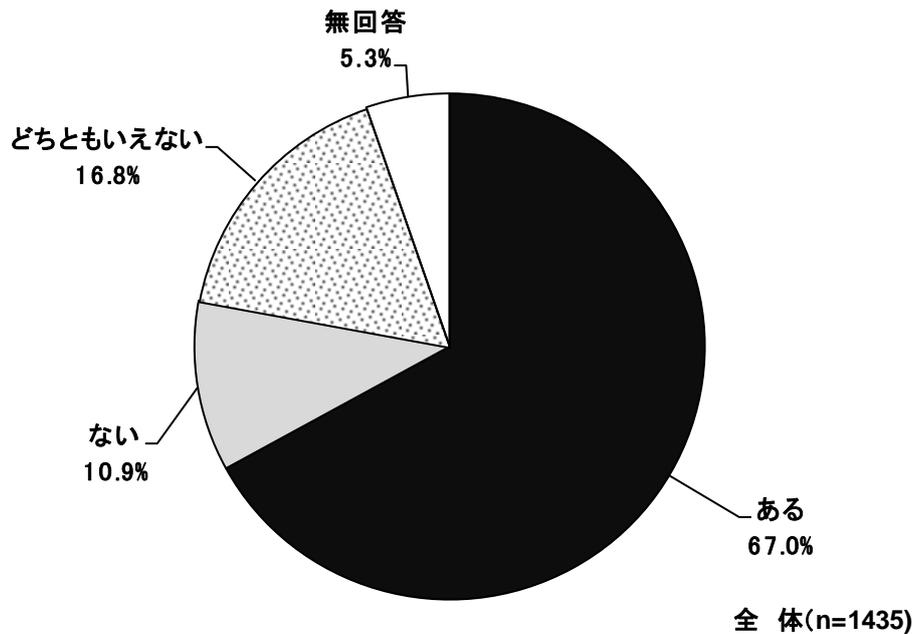
問 歩いて通える範囲に、「住民運営通いの場」があったら、参加してみたいと思いますか



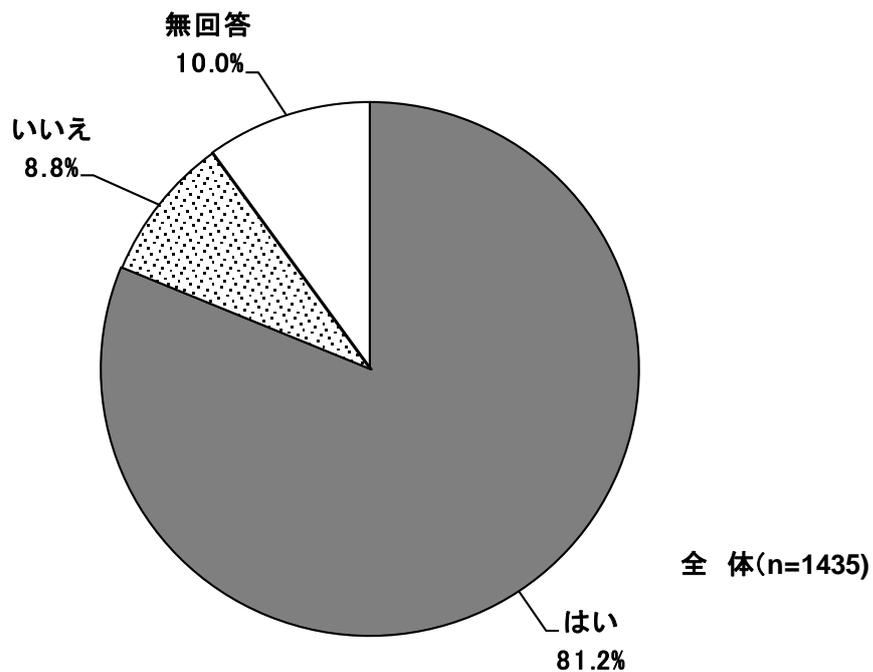
**課題2 地域住民同士の助け合いの拡充**

近所の人と気軽に話せる関係が「ある」と回答した高齢者は67.0%、地域の中で助け合いの仕組みは「必要」と考えている高齢者は81.2%と、隣近所による助け合い、いわゆる「互助」の必要性は高くなっています。

問 近所の人と気軽に話せる関係がありますか



問 地域の中で助け合いの仕組みは必要だと思いますか



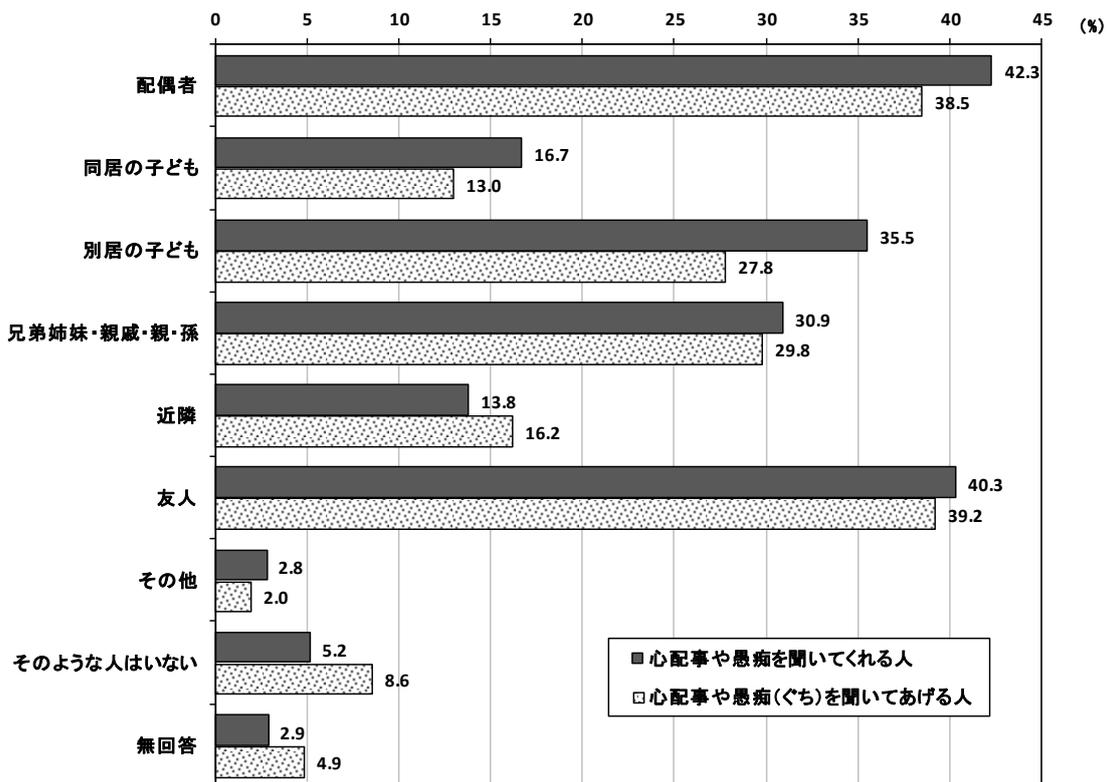
このような中、心配事や愚痴を聞いてくれる人、反対に聞いてあげる人としては、「配偶者」「友人」がもっとも多くなっていますが、「近隣」と回答した人はともに全体の15%前後とまだ低い状況です。

先に示したように、地域の中での助け合いの仕組みづくりの必要性は高いだけに、住民同士の助け合い、いわゆる「互助」の取組は、今後の地域包括ケアシステムの実現やひいては地域共生社会へ向けて大切なものであり、地域を巻き込んだ見守り、気づきに対する取組が必要です。

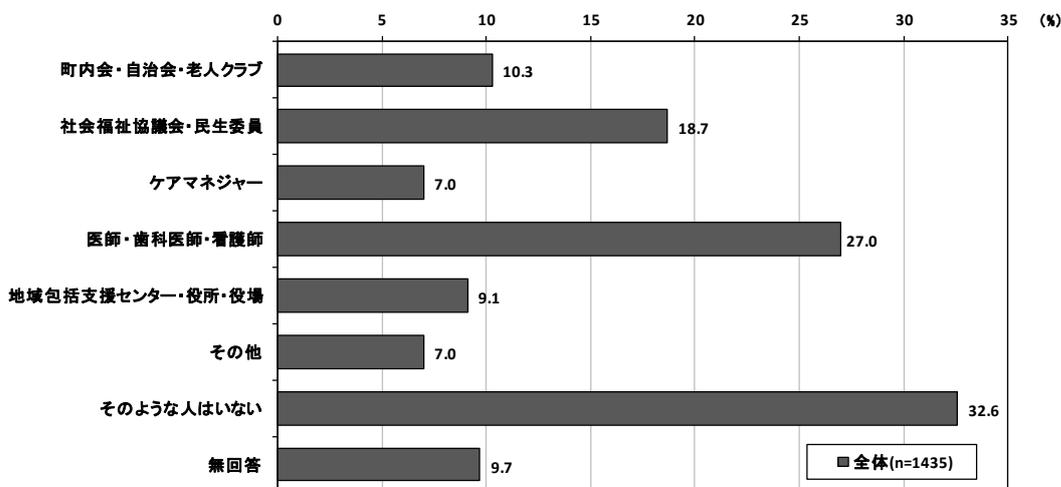
家族や友人・知人以外で、相談する相手については、かかりつけの「医師・歯科医師・看護師」が27.0%を占めてもっとも多いものの、「社会福祉協議会・民生委員」も18.7%と多くなっており、住民同士の情報共有による「共助」の充実が重要になっています。

そのため、社会福祉協議会や民生委員に気軽に相談できる体制づくりや環境づくりが必要です。

- 問 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいますか（○はあてはまるものすべて）
- 問 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はいますか（○はあてはまるものすべて）



問 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（○はあてはまるものすべて）



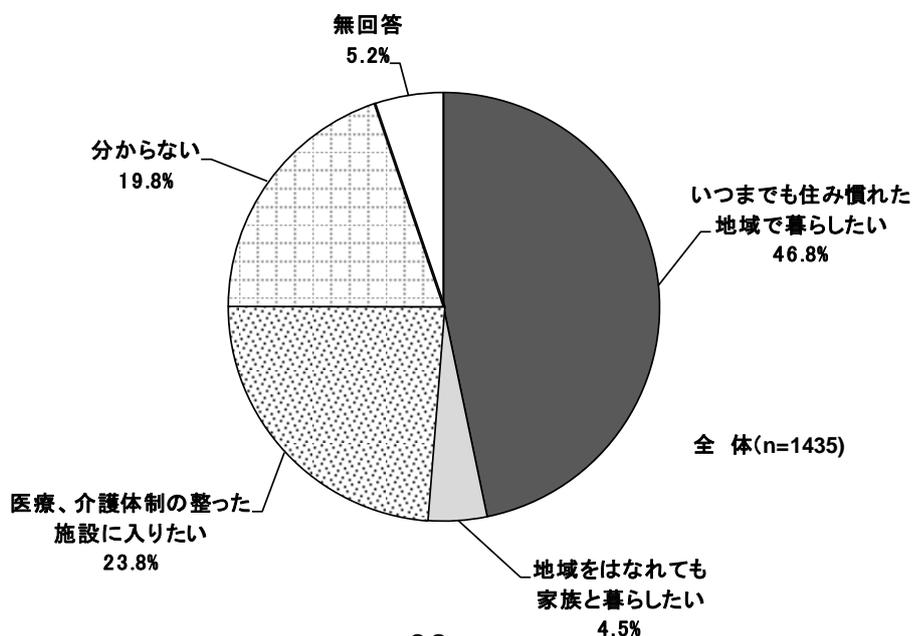
### 課題3 在宅医療・介護連携の推進

将来、ひとり暮らしや高齢者のみの世帯になった場合の暮らし方としては、「いつまでも住み慣れた地域で暮らしたい」が半数近くを占めてもっとも多いものの、「医療、介護体制の整った施設に入りたい」も全体の4分の1を占めています。

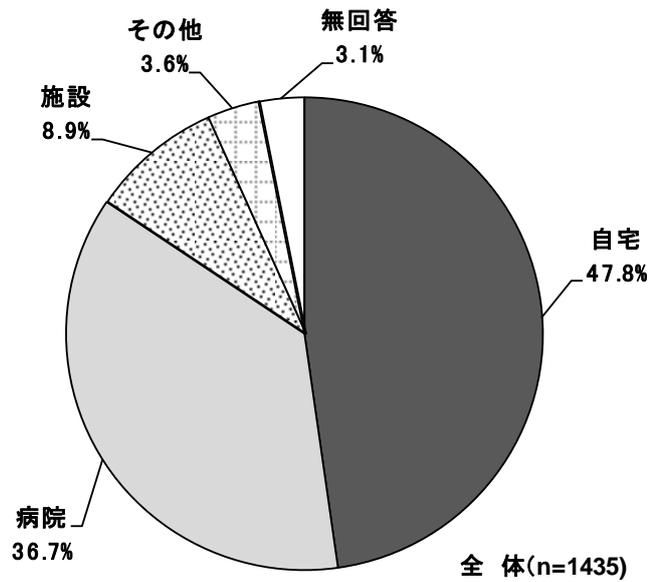
さらに、最期を迎えたいところ、いわゆる「終の棲家」としては、「自宅」が約半数を占めて、もっとも多いものの、「病院」も4割近くを占めています。

病気や要介護状態で終末期になっても、自宅で医療サービス（医師による訪問診療、訪問看護など）や介護サービス（ホームヘルプなど）を受けながら、死を迎えることができることを知っている高齢者も約半数を占めていること、病院や施設への安心感等から、医療と介護の連携への期待感が高く、医療・介護連携の充実は、地域包括ケアシステムを実現するためには不可欠な取組となっています。

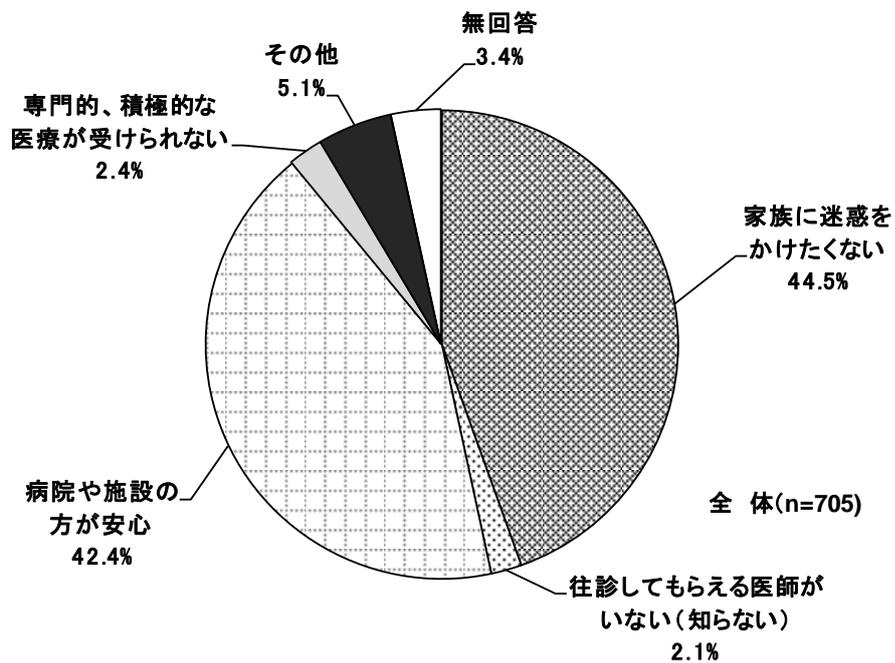
問 もし将来単身または高齢者のみの世帯になった場合、あなたはどのように暮らしたいですか（○は1つ）



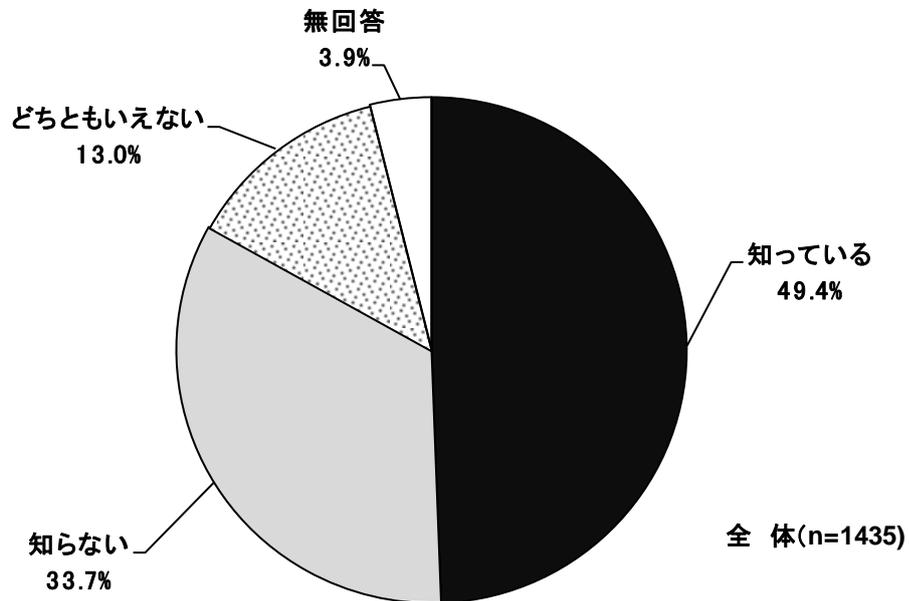
問 どこで死を迎えたいと思いますか（〇は1つ）



問 【死を迎えたい場所として「病院」「施設」「その他」と回答した方のみ】  
自宅を希望しない理由は何ですか（〇は1つ）



問 病気や要介護状態で終末期になっても、自宅で医療サービス（医師による訪問診療、訪問看護など）や介護サービス（ホームヘルプなど）を受けながら、死を迎えることができることを知っていますか



#### 課題4 高齢者福祉サービスの充実

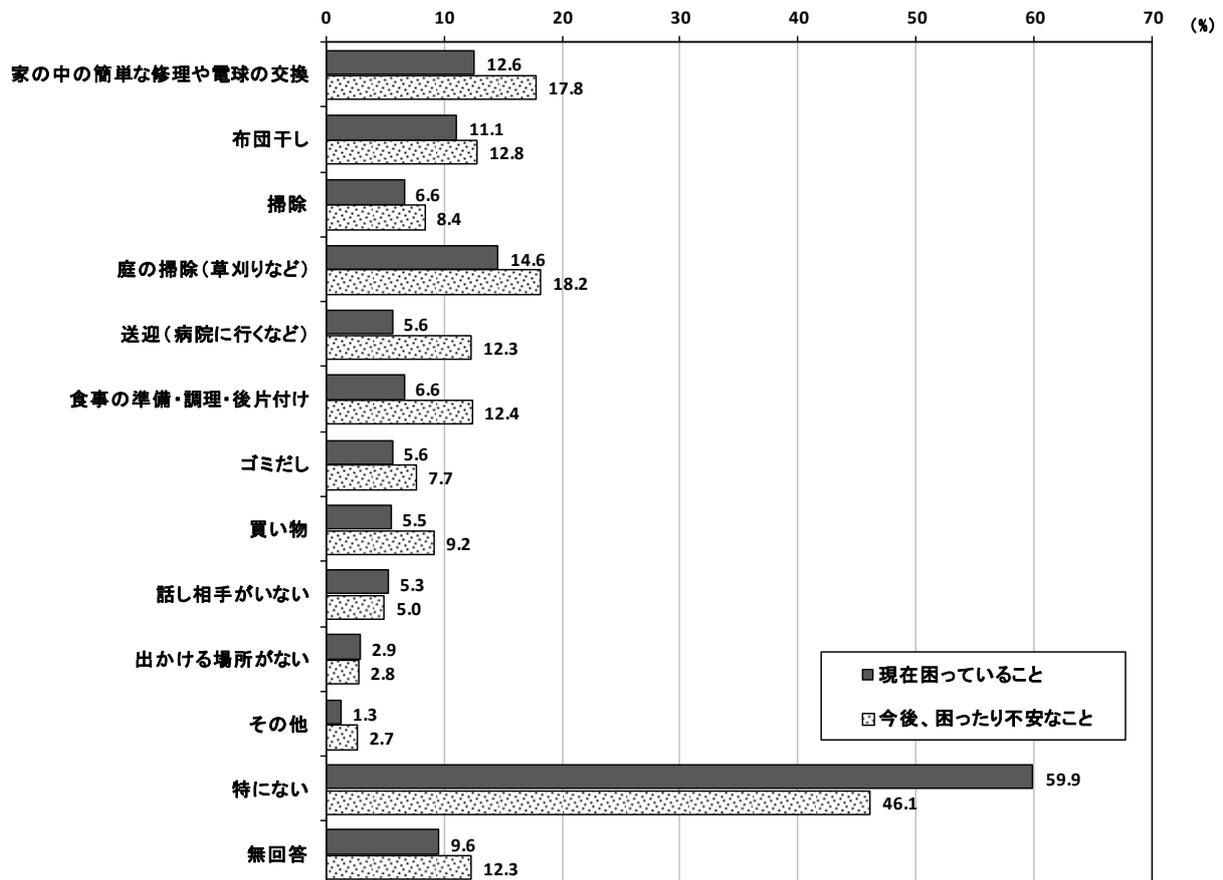
高齢者が、現在と今後について、日常生活の中で困っていることとしては、「庭の掃除（草刈りなど）」、「家の中の簡単な修理や電球の交換」、「布団干し」等があげられ、ちょっとした手助けができる仕組みづくりを充実する必要があります。

また、今後の暮らしにおける不安事としては、身体健康面や認知症等の「病気」に関するものがもっとも多く、ついで、「移動手段、車の運転」、「介護」と続いており、これら高齢者のニーズに対応した高齢者福祉サービスの充実が求められます。

併せて、最寄りの地域包括支援センターでの相談事業の周知を図ることによって、高齢者福祉サービス全体の周知を図る必要があります。

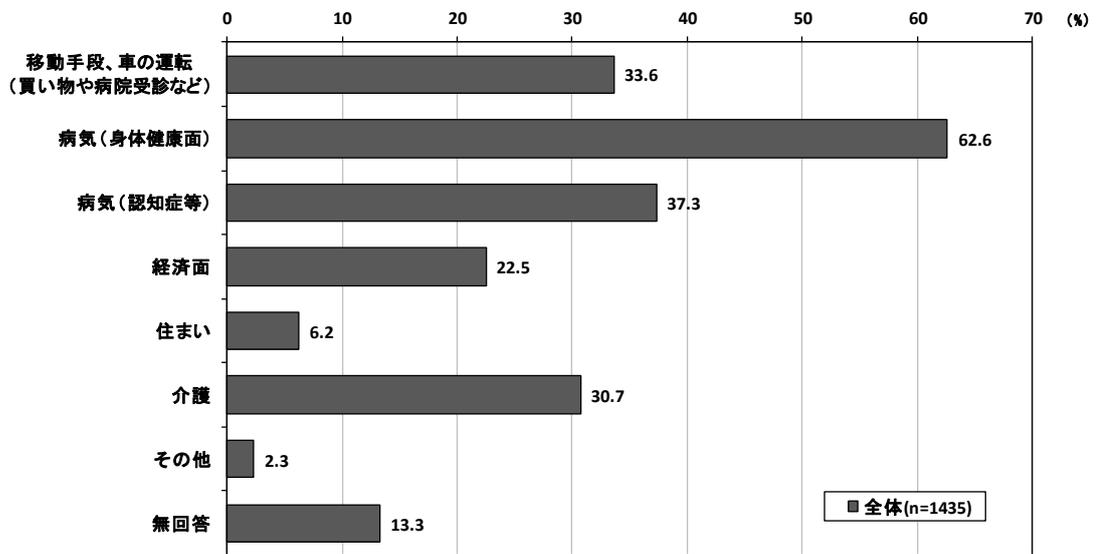
問 あなたが現在の日常生活の中で、困っていることがありますか（○はあてはまるものすべて）

問 あなたが今後の日常生活の中で、困ったり不安なことがありますか（○はあてはまるものすべて）

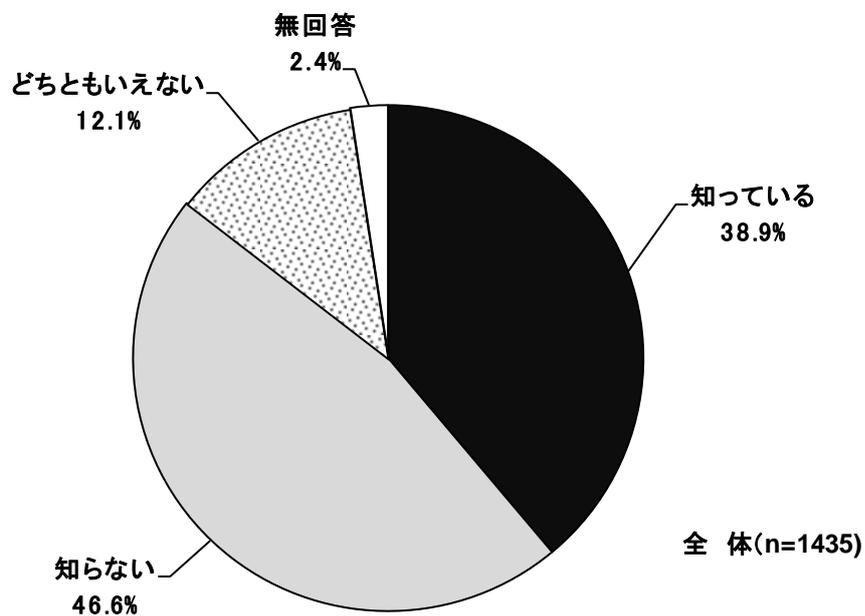


◆第3章 ニーズ調査結果からみた課題等◆

問 自分や家族の今後のくらしのことで、不安や気にかかることはありますか（○はあてはまるものすべて）



問 最寄りの地域包括支援センターで、介護や認知症など、高齢者の困りごと全般について相談できることを知っていますか



**課題5 介護離職に繋がらないための対応**

介護をしながら働いている（フルタイム、パートタイム等）対象者は、全体の42.2%を占めています。

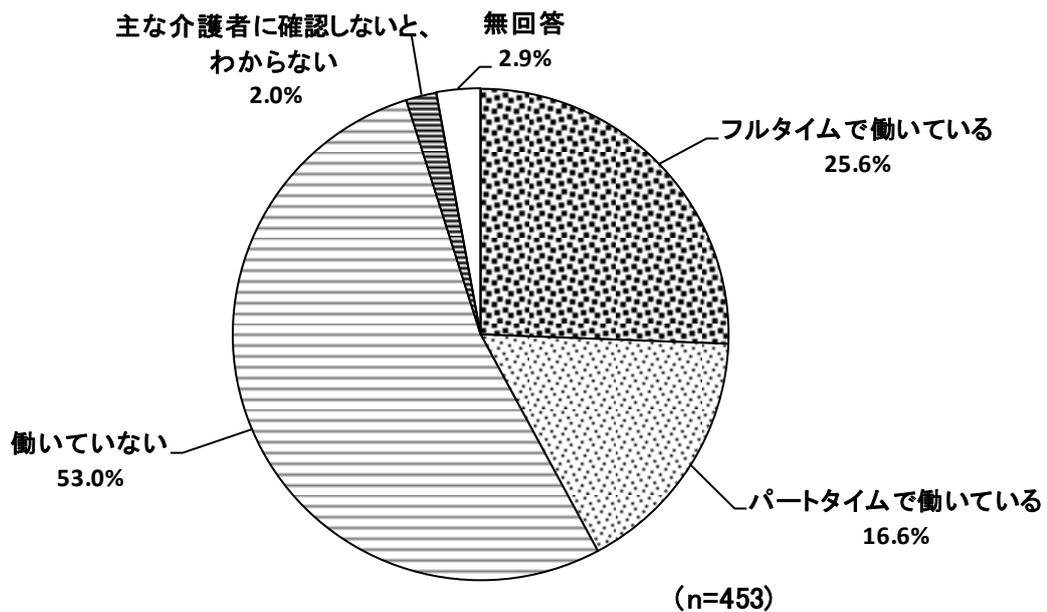
この中で、介護にあたって、働き方について調整している対象者は約半数で、そのなかでは「労働時間を調整」している対象者がもっとも多くなっています。

一方で、勤務先からの必要な支援としては、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」の他、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」、「制度を利用しやすい環境づくり」があげられており、労働時間の調整等、介護者にとって働きやすい環境づくりが求められています。

このような中、介護の継続については、「問題はあるが何とか続けていける」と回答した対象者は41.9%を占めてもっとも多く、何等かの問題を抱えながら介護を続けている実態があります。

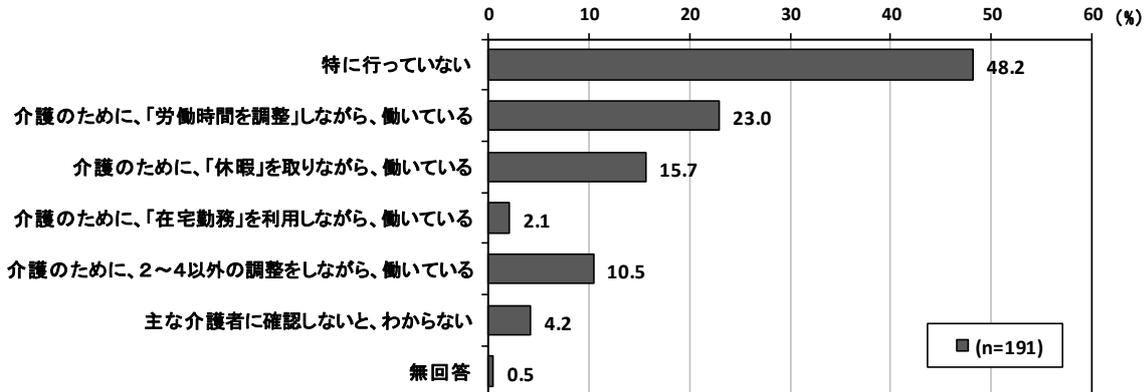
その中で、不安を感じる介護としては、身体介護では「外出の付き添い、送迎等」、「認知症状への対応」、「入浴・洗身」、「夜間の排泄」、「日中の排泄」が上位にあげられており、介護離職に繋がらないよう、24時間対応のサービス等も検討する必要があります。

問 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）

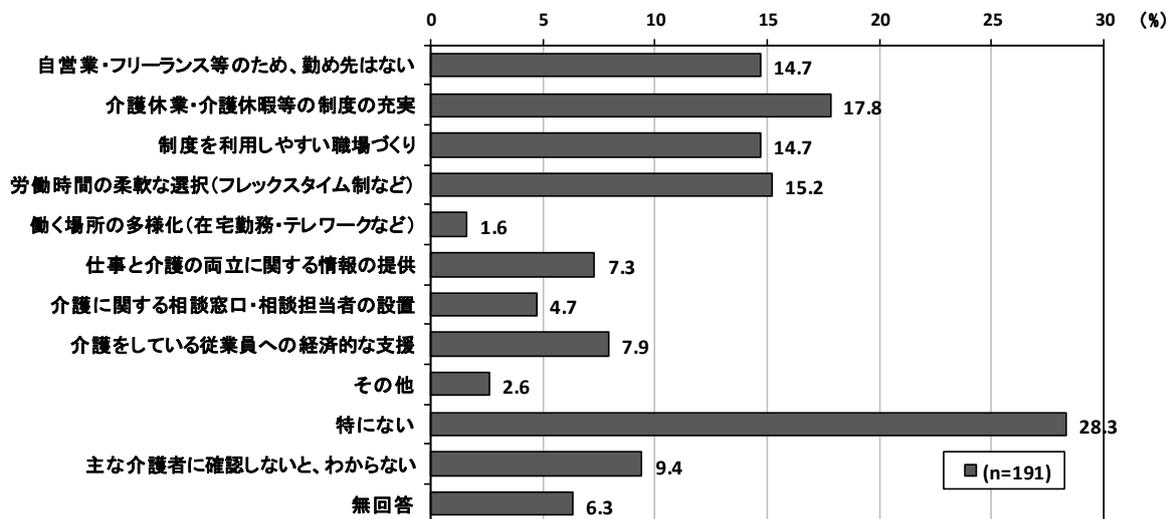


◆第3章 ニーズ調査結果からみた課題等◆

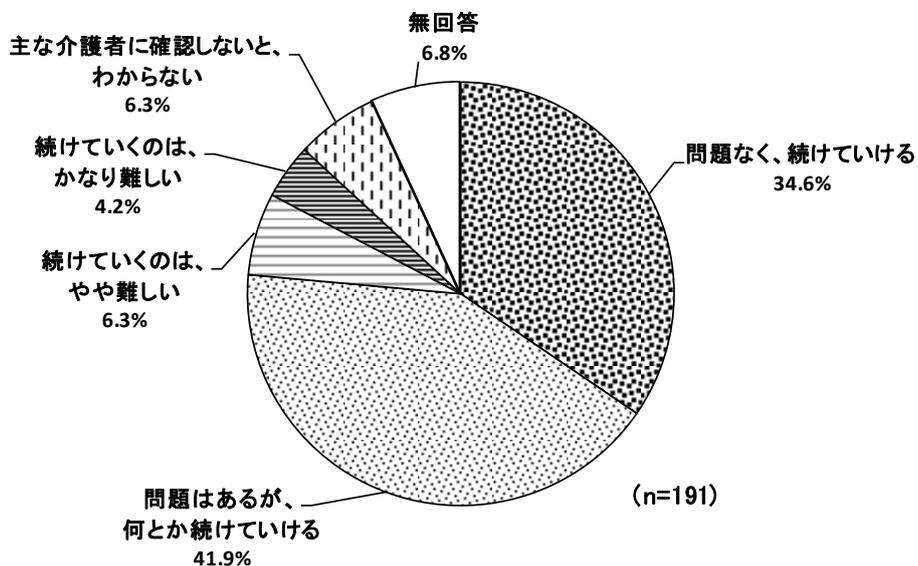
問 (フルタイム、パートで働いている方に) 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか (複数選択可)



問 (フルタイム、パートで働いている方に) 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか (3つまで選択可)



問 (フルタイム、パートで働いている方に) 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか (1つを選択)



問 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

